

研究名：産後ケア事業の利用者である母親の身体的、精神的、社会的な課題の記述～既存資料を用いた後方視的観察研究～

1. 研究の目的

本研究では、産後ケア施設利用者における母親の身体的・心理的・社会的課題を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2017年7月の開設時から2025年3月31日までに当施設が提供する、産後ケア（デイサービス型・宿泊型（ナイト・ステイ））を利用された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～ 2027年3月末日まで
- ③ 研究方法：産後ケア利用時の記録に記載されたものを収集し、産後ケア事業の利用形態別、お子さんの月齢や出産歴別などの身体的・心理的・社会的な支援ニーズや課題の頻度などを調査します。

3. 研究に用いる情報の種類

産後ケアの利用状況、年齢や出産歴などの基礎的情報、利用中の相談内容など
これらの情報を倫理審査会承認後（2025年6月初旬頃）から利用させていただきます。

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究で得られた結果は、個人が特定されないように処理を行った上で、学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

Mama & Baby あきやま・国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、**2025年8月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、データの集計や解析、発表などが既に済んだものについては削除ができないこと、ご了承ください。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

Mama&Baby あきやま 院長 秋山 千枝子

Mama&Baby あきやま 1

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-1-5 三鷹ロイヤルハイツ 108

TEL：0422-52-4700

Mama&Baby あきやま 2

住所：〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-2-4 ベルジュール三鷹ステーションハウス 1F

TEL：0422-27-8222

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 政策科学研究部 竹原 健二